

平成29年度事業実績報告の概要(小規模事業者経営支援事業費補助金関係)

団体名: 小牧商工会議所

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者	事業評価													
				目標①		目標②		得られた効果		A B C D評価				今後の展開・改善点等		備考	
				指標	数値	指標	数値	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	実施方法				
巡回・窓口相談指導事業	地域内事業者の大多数を占め、本市商工業の大宗をなす小規模事業者の経営基盤の安定強化のほか、創業・経営革新への積極的な支援を実施するため巡回及び窓口において相談・指導を行う。巡回相談指導では、小規模事業者と接点を持ち信頼関係を築くことや事業計画策定の意義を伝えることを重点に掲げ、各種施策の周知や経営実態と課題等について伴走型支援に努める。	・巡回窓口指導実施企業数 906社(内、非会員数 108件) ・巡回窓口指導件数 2,227件(内、非会員数 210件) ・課題解決提案件数 60件 ・経営革新承認件数 7件	小規模事業者	指標 巡回窓口指導件数 (達成度 154.7%)	指標 課題解決提案件数 (達成度 100.0%)	60	60	本市商工業者の基盤をなす小規模事業者の経営基盤の安定化に努め、巡回窓口において相談指導を行い、小規模事業者並びに創業者の支援に寄与することができた。また、課題解決提案によって指導の成果を明確にすることができた。	総合評価 A	自己評価 A	調査結果 B	満足度 B	補足	目標 両方現状維持	経営発達支援計画に基づき取り組む。特に「事業計画策定の意義」を伝えるとともに経営の実態把握、経営課題に対して、課題解決提案支援を重点的に取り組む。		○
講習会等	地域内事業者の大多数を占める小規模事業者の振興・安定に寄与することを目的に、経営知識の普及を図る。	講習会開催回数及び受講者数 ・集団 2回 34人 ・個別 73回 479人 計 75回 513人	小規模事業者	指標 開催回数 (達成度 100.0%)	指標 (達成度 %)	75	75	・個別講習会 個々の現務報告内容の確認、誤りの訂正ができた。 ・集団指導 専門技能、最新知識の習得により事業者の資質向上に役立つことができた。	総合評価 A	自己評価 A	調査結果 B	満足度 B	補足	目標 下げる	定例の個別相談が層により回減少となった。実施方法等は現行どおり実施する。		
記帳継続指導	管内の小規模事業者(個人)を対象に、日々の記帳処理から決算・申告までを習得し自主申告する事を目的に、定期的に対面指導を行う。経営状態が把握できる期間になることで、経営力強化や事業計画策定など経営発達支援にも結び付ける。	・指導対象者数 74件 ・指導延日数 438日 ・指導延回数 1,687回	管内の個人の小規模事業者	指標 受託件数 (達成度 100.0%)	指標 (達成度 %)	74	74	小規模事業者が帳簿記帳の知識を身に着けることにより、経営体質の強化と安定を図ることができた。	総合評価 A	自己評価 A	調査結果 A	満足度 A	補足	目標 下げる	記帳指導・財務分析に加え事業計画策定支援等を指導員と連携して支援する。		
若手後継者等育成事業	小規模事業者の振興と安定に寄与することを目的に、経営の改善発達を支援する事業を推進するにあたり、若手後継者等の育成、支援を通じて経営実質の向上を図る。	・青年部 部員数 72人 役員会・総会等 18回 ・女性会 役員数 51人 役員会・総会等 16回	小規模事業者を中心とする青年部員性会会員	指標 青年部部員数 (達成度 96.0%)	指標 女性会会員数 (達成度 102.0%)	75	72	役員会、資質向上のための研修会等を通じて自己研鑽、組織運営の手法を学び、経営知識向上の一助とした。	総合評価 A	自己評価 A	調査結果 A	満足度 A	補足	目標 ①下げる②上げる	継続して組織強化に取り組む。手法は、役員等を中心に協議・決定し推進する。		
地域振興祭事業	小牧市民の各世代のエネルギーを結集したまつりが開催されるにあたり、産業祭として協力の下、平成夏まつり・小牧市民まつりが行なわれる。そのため実行委員会に参加するとともに催事に参画し、商工業者の団結とまちの活性化に寄与する。	・小牧平成夏まつり 来場者数 87,000人 総会1回、実行委員会4回、まつり当日(2日間) 計7回 ・小牧市民まつり 来場者数 32,000人 準備1日、当日2日、後片づけ1日 計4日	中小・小規模事業者	指標 小牧平成夏まつり来場者数 (達成度 96.7%)	指標 小牧市民まつり来場者数 (達成度 16.8%)	90,000	87,000	市街地において賑わいを創出することで、地域コミュニティの醸成や地域振興に結びつける機会とするとともに、商工業者の団結とまちの活性化に寄与することができた。	総合評価 A	自己評価 A	調査結果 C	満足度 A	補足 天候不良のため、来場者数は、減少した。	目標 ①上げる②現状維持	①変更する②現行どおり		
街づくり事業	商店街組織の衰退が進み、中心市街地活性化の主体となることが難しい状況に陥っている。こうしたなか、商店街・市・商工会議所・市民団体を中心とした協働組織体「小牧にぎわい隊」の自主自立に向けた運営等の支援を行う。	総会 1回 正副会長会議 12回 役員会議 12回 イベント 9回 計34回	中心市街地商店街(小規模商業者)	指標 会議等開催回数 (達成度 106.3%)	指標 (達成度 %)	32	34	商店街や市民団体、行政をはじめ関係団体との連携のもと、小牧市民や市外から多く来場することで中心市街地にぎわい創出に結び付けることができた。	総合評価 B	自己評価 B	調査結果 A	満足度 B	補足	目標 上げる	小牧にぎわい隊事務局強化に向けた支援を通じ、組織運営と商店街の支援を図る。		
地域振興事業	小牧市の地域を7地区に分け商工会議所の事業の一環を担い、会員事業所への情報提供(小規模事業者を中心に)を行うなど、地域商工業の振興に資する。	・外山ブロック会 会議0回 事業3回 ・小牧ブロック会 会議5回 事業2回 ・小牧原ブロック会 会議1回 事業3回 ・味岡ブロック会 会議3回 事業2回 ・篠岡ブロック会 会議7回 事業2回 計 22回 計 12回	中小・小規模事業者	指標 会議開催回数 (達成度 81.5%)	指標 (達成度 %)	27	22	地域の評議員が中心となって各種事業を展開し、施策の精液しをすることで市内小規模事業者に経営改善や事業施策の浸透が図れた。	総合評価 A	自己評価 B	調査結果 B	満足度 A	補足	目標 上げる	事業者の「声」の集約、相談所事業の周知、等を目的に各ブロック毎に「懇談会」を開催し充実を図る。		
経営相談、指導事業	中小・小規模事業者の求める専門的ニーズはより高まっており、企業の発展は、専門的なアドバイスや個別的な支援が必要になっているため、専門家を活用してそのニーズに応える。	・相談室運営に関する事項 定例開催(税務・年金事務所出張) 随時開催(法律・特許・社会保険労務士・E421環境経営・国際ビジネス・ISO・IT) 相談室開催数 計36回	中小・小規模事業者	指標 相談室開催数 (達成度 116.1%)	指標 (達成度 %)	31	36	小規模事業者が経営上のさまざまな問題に直面した場合に、無難または安易でより専門的なアドバイスを受けられる機会を商工会議所が提供することにより経営のニーズに応えた。	総合評価 A	自己評価 B	調査結果 A	満足度 A	補足	目標 現状維持	小規模事業者の経営課題の解決に向け、利用者を積極的に活用して、課題を主眼に置き開催していく。		
商談会事業	営業力の限られる中小・小規模事業者にとって、取引先の新規開拓は重要だが難しい問題である。このため、商談の場を提供することにより、取引の機会拡大を図る。	・平成29年度地域商談会(尾張会場) 12件 ・アライアンス・パートナー発掘市2017 27件	中小・小規模の製造業及び県内商工会議所会員事業者のうち中小・小規模の全業種	指標 地域商談会(尾張会場)に参加の受注企業数 (達成度 80.0%)	指標 アライアンス・パートナー発掘市エントリー企業数 (達成度 180.0%)	15	12	地域商談会(尾張会場):受注企業・発注企業が各々が持つ得意分野や独自技術などを紹介する場所を提供できた。 アライアンス・パートナー発掘市:新製品開発など協力してくれるパートナー探しや、商談のチャンスを提供できた。	総合評価 A	自己評価 B	調査結果 A	満足度 B	補足	目標 ①下げる②上げる	実施する商談会の広報を強化することで、より多くの企業に参加いただき、新たな商談機会を提供できるように努める。		

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。  
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。  
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

平成29年度事業実績報告の概要(小規模事業経営支援事業費補助金関係)

団体名: 小牧商工会議所

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者	事業評価															
				目標①			目標②			得られた効果	A B C D 評価				今後の展開・改善点等	備考			
				指標	実績数値	達成度	指標	実績数値	達成度		総合評価	実施評価	自己評価	調査結果					
青年部・女性会事業	青年部 次代の地域経済を担う経営者、後継者の相互研鑽の場として、また、青年経済人として資質の向上と部員相互及び卒業生であるOB会との交流を通じ、企業の発展と豊かな地域経済社会を築く。 女性会 多様化する商工会議所事業の一翼を担い、女性の特性を活かして商工会議所事業を推進し、もって商工会の総合的な発展を図る。	・青年部・女性会が主催する事業 青年部員による事業の運営、上部団体(県連等)、青年部OB会の活動に25回参加 女性会会員による事業の運営、上部団体(県連等)の活動に参加	小規模事業者を中心とする青年部員・女性会会員	指標	青年部事業数(会報発行を含む) (達成度 96.2%)			指標	女性会事業数(会報発行を含む) (達成度 100.0%)			部員による事業の企画・実施や、上部団体等の活動に参加することにより、組織運営の手法を学んだ。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価	満足度	補足	目標 ①現状維持②上げる	役員等を中心に協議・決定し推進する。効果的な事業運営の支援に努める。
				目標数値	26	実績数値	25	目標数値	16	実績数値	16				調査結果	必要性	A		
部会・委員会事業	部会や委員会活動支援を行い、情報提供や企画事業の実施並びに中小企業施策への積極的対応(説明会・相談会等)をすることで、個別企業の発展に資し、企業の連帯感の醸成をすることを目的とする。また、地域の振興と消費喚起を図る。	・理財金融業・交通運輸業、一般製造業・窯業ゴム化学工業・機械金属工業・建設業 各部会 ・産業振興・地域活力向上 各委員会 ・プレミアム商品券・名古屋コーチン・婚活事業 各プロジェクト事業 計21回	中小・小規模事業者	指標	事業開催回数 (達成度 91.3%)			指標	(達成度 %)			中小・小規模事業者のニーズ把握とともに、小規模事業者の事業参加の機会を増やすことができた。	総合評価 B	実施評価 B	自己評価	満足度	補足	目標 下げる	部会・委員会内において中小・小規模事業者のニーズを把握して、各種事業に反映させる。
				目標数値	23	実績数値	21	目標数値		実績数値					調査結果	必要性	B		
労働保険事業	労働保険への加入手続、保険料の申告・納付手続、その他雇用保険の被保険者に関する手続等各種の事務処理は中小企業の負担となることが少なくない。労働保険事務組合を設置することにより中小企業事業主の負担を軽減するとともに各制度を推進する。	・労働保険事務組合小牧商工会議所運営に関する事項 委託事業場数 452件 800件 労働保険事務組合連合会等会議・研究会 4回 ・小牧商工会議所建設一人親方組合運営に関する事項 委託事業者 50人	中小・小規模事業者	指標	労働保険事務組合委託事業場数 (達成度 102.7%)			指標	一人親方組合委託事業者数 (達成度 111.1%)			小規模事業者の事務負担量を大幅に削減し、助成金や各種給付申請についても適切な助言を行い、労働保険制度を有効に活用できた。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価	満足度	補足	目標 ①上げる②現状維持	未適用事業所の適用を促進し、適用事業所には適正な納付を推進していく。更に、建設一人親方組合の普及を図る。
				目標数値	440	実績数値	452	目標数値	45	実績数値	50				調査結果	必要性	A		
雇用促進事業	個人の能力を大いに発揮し業務に精励し、在籍する事業所への貢献・功績があった従業員を表彰することで、地域企業への就業者の確保や定着促進を図ることを推進する。また、中小・小規模事業者への経営支援の一環として、身近な優良会員企業を発見し顕彰しPRする機会を創出し当該企業の事業活動の一助とする。	・会員中小・小規模事業者を対象に優良従業員表彰制度や会員企業表彰制度を週週し周知を行う。更には、所報を通じて募集し総会にて表彰を行う。 優良従業員表彰者人数 16人 会員企業表彰企業数 1社	会員中小・小規模事業者	指標	優良従業員表彰者人数 (達成度 88.9%)			指標	会員企業表彰企業数 (達成度 50.0%)			・優良従業員表彰在籍する事業所への貢献・功績があった優良従業員を表彰することで、地域企業への定着促進が図れた。 ・会員企業表彰事業活動が極めて優秀と認められた企業の対外的な評価と更なる発展に繋がる一助となった。	総合評価 B	実施評価 B	自己評価	満足度	補足	目標 ①現状維持②下げる	中小・小規模事業者の雇用安定、事業所の魅力発信を主眼に開催し、当該事業所の事業活動の一助となるよう継続していく。
				目標数値	18	実績数値	16	目標数値	2	実績数値	1				調査結果	必要性	B		
税務関係団体指導事業	小牧税務署や他団体と連携し、税に関する情報交換や、傘下中小・小規模事業者への税務知識普及と推進を行う。	・小牧法人会小牧4支部、小牧税務連絡協議会企画運営委員会等共同にて会議の開催及び運営指導を行う。 会議、事業等開催回数 計18回	中小・小規模事業者	指標	会議・事業開催回数 (達成度 94.7%)			指標	(達成度 %)			管内中小・小規模事業者の税務知識、適正納税の普及と関係団体と連携して推進が図れた。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価	満足度	補足	目標 現状維持	事業承継税制を始め各種税制改正への対応が進むなか、更に連携を強化し事業内容の充実を図る。
				目標数値	19	実績数値	18	目標数値		実績数値					調査結果	必要性	A		
産業団体等指導事業	小規模事業者主体の団体への組織運営手法などの指導を通じ、参加組合員の経営改善の一助とする。	・小牧喫茶店組合 愛知県商店街振興組合連合会小牧支部、小牧市発展会連絡協議会、小牧市北里発展会、小牧市東部商店街振興組合、大山西を愛する市民の会の運営指導を行う。 会議・事業等の開催回数 計46回	小規模事業者を中心とする地域商工業者・団体	指標	会議・事業開催回数 (達成度 104.5%)			指標	(達成度 %)			団体への事業支援による地域振興を図った。	総合評価 B	実施評価 B	自己評価	満足度	補足	目標 現状維持	各団体の事業を通じ、組織強化を目指し、また、事業支援による地域振興を図る。
				目標数値	44	実績数値	46	目標数値		実績数値					調査結果	必要性	B		
情報収集提供事業	当所が発行する「所報つづし」「相談所便り」「メールマガジン」により小規模施策、各種事業をPRし小規模事業者の各種制度の利用を勧奨する。また商工振興モニター制度による小規模事業者の経営情報等の収集と取りまとめを行う。	・所報つづし 12回 相談所便り 3回 メールマガジン 26回 商工振興モニター100件	中小・小規模事業者	指標	メールマガジン発行回数 (達成度 108.3%)			指標	(達成度 %)			中小・小規模事業者向け施策や各種事業等の情報提供を行い、施策を活用したいと考える中小・小規模事業者が増えた。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価	満足度	補足	目標 下げる	情報閲覧が少ないメールマガジン定期発信日は停止するため減少したが、臨時発行を強化し取組むこととする。
				目標数値	24	実績数値	26	目標数値		実績数値					調査結果	必要性	A		
人材育成事業	各種研修、検定試験を実施することにより、経営や仕事上の基礎能力の向上に寄与する。	・社員研修 新入社員研修、労働安全衛生法に準拠した職長研修(2回)、TWI(監督者訓練)講習会 計4回 ・各種検定 簿記検定3回、珠算検定3回、リテールマーケティング(販売士)検定2回、ビジネス実務法務検定2回、福祉住環境、コーディネーター検定2回、ビジネスマネジャー検定2回 計14回	管内小規模事業者、中小企業者及びその社員、一般市民	指標	社員研修(実施回数) (達成度 100.0%)			指標	各種検定(実施回数) (達成度 100.0%)			各種講習会等の開催で地区内小規模事業者等の人材育成に寄与した。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価	満足度	補足	目標 両方現状維持	更なるニーズ把握に努め、受講者の増加及び受講者満足度の向上に努める。
				目標数値	4	実績数値	4	目標数値	14	実績数値	14				調査結果	必要性	A		

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。  
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。  
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。